



JASSO「ソーシャルボンド」への投資について

日本赤十字広島看護大学は、このたび、資産運用を通じた社会貢献と2015年に国連が定めた持続可能な開発目標SDGs達成への取組として、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「JASSO」という。）が発行する「ソーシャルボンド」（第74回日本学生支援債券）への投資を決定しました。

JASSOの「ソーシャルボンド」の発行により調達された資金は、JASSOが担う奨学金事業の内、貸与奨学金に全額充当され、教育の機会均等を支える取り組みへの支援で、SDGsゴール4「質の高い教育をみんなに」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に資するものとなります。

赤十字は、192の国と地域に広がる世界的ネットワークを活かし、様々な人道支援活動を展開している国際的な団体であり、日本赤十字社はそのうちの一社です。

日本赤十字社は、明治23年（1890年）に看護師の養成を開始し、その歴史は130年以上に及び、看護師養成事業は日本赤十字社における重要な事業の一つであり、学校法人日本赤十字学園は、その一翼を担っています。

日本赤十字広島看護大学は、学校法人日本赤十字学園の中国四国地方の拠点校として2000年に開学しました。赤十字の人道の理念に基づき、国内外の保健・医療・福祉の分野で幅広く活躍できる有能な人材を育成し、看護学の発展及び人類の福祉の向上に寄与することを目的としています。この目的の実現に向けて、豊かな人間性と幅広い教養、グローバルな視点を身に付け、命と尊厳を守るヒューマンケアリングの実践者の育成を目指しています。

超高齢社会の進展、また新たな感染症の発生などを背景に、「医療人材」の確保が全国の医療機関で急務となり、医療人材の育成が何より重大な課題であると同時に、経済的な支援による教育面の強化も重要と考えています。

このため本学は、看護師養成にとどまらず、教育に資する取り組みは教育機関の社会的役割の一つと考え、JASSO「ソーシャルボンド」への投資を決定しました。

本学の資産運用を通じて、広く教育支援に貢献することを目指しております。

令和6年1月17日
学校法人日本赤十字学園
日本赤十字広島看護大学